nagomi

札幌組報 なごみ

2018年03月31日
第56号
浄土真宗本願寺派北海道教区
札幌組実践運動委員会
広報委員会
札幌組 HP
http://www.onishi.or.jp

平成29年度　札幌組　重点プロジェクト　社会部・研修部合同
「東日本大震災七回忌を終えての報告と今後の課題について」

協力　札幌組寺族婦人会・札幌正信会・札幌雅友会

研　修　会

去る平成29年10月20日、札幌パークホテルに於いて、札幌組重点プロジェクト「東日本大震災七回忌を終えての報告と今後の課題について」と題し、札幌組実践運動委員会社会部並びに研修部の併催にて執り行われました。当日は組内外の僧侶、坊守、門信徒の皆様方、総勢130名を超える方々がご参集下さいました。

研修会の御講師には、東北教区相馬組副組長常福寺住職　廣畑恵順（ひろはたえじゅん）師にご出向いただき、地震後、余波で発生した原発事故当時の避難の様子や、現在の生活、そして各地で執り行われた東日本大震災七回忌の状況を詳しくお話しいただきました。特に皆様も記憶に新しいと思いますが、「SPEEDI（スピーディ）緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステムの略」というシステムが示した危険な方向へ、皆避難をしていたという事実をお聞きし、本当に恐ろしいことだと再認識を致しました。

まだまだ復興にはほど遠く、とにかく「忘れ去られる恐怖」との闘いだというお言葉が特に印象的でありました。今後も宗派、教区、組を上げて引き続きの支援を行っていくことを確認致しました。

常福寺住職　廣畑恵順師

平成29年度　札幌組　重点プロジェクト　社会部・研修部合同
「東日本大震災七回忌を終えての報告と今後の課題について」

追悼コンサート

研修会終了後は、医学博士、そして二胡奏者である中国の姜（ジャン）　暁艶（ショウイェン）さんによる追悼コンサートを開催致しました。姜さんは、震災以降、毎年「震災孤児支援コンサート」を行ったり、震災支援に長く関わってこられた方であります。この度は次の日に岡山県でコンサートを行うハードなスケジュールではありましたが、快くご賛同いただきこの度の開催に至りました。

また、札幌組寺族婦人会様、札幌正信会様、そして札幌雅友会様からご協力をいただき、特に札幌雅友会様は結成20年の記念の年でもあり、姜さんの二胡と雅楽のコラボを行い、ご参加いただきました皆様、大変喜ばれておりました。最後に札幌組を代表して組長から義捐金、そして研修会の時にお集めさせていただいた参加者から募った温かいお心のこもった募金も併せて相馬組様へお送りさせていただきました。まだまだ大変な時間が続くと思いますが、何かしらのご支援を続けさせていただくことをお誓いし閉会となりました。

義捐募金の様子

雅友会結成20年記念ふろしき

CDにサインを頂いています

伝道企画部　ラジオ伝道　「お西のお寺さん」番組終了のご報告と御礼

今年度、伝道企画部の活動の一環として、昨年４月から毎週水曜日、午後９時よりＦＭアップル（76.5MHz）　番組タイトル　ラジオ伝道「お西のお寺さん」がスタートとなりました。

札幌組実践運動の取り組みについて、電波を使い伝道の幅を拡げることを目標とし、社会へ向けてお伝えさせて頂く事が出来ればと願い、これまでに札幌組内御寺院様や出演者の皆様にも番組にご協力を賜りました。

番組に於いては、ご出演されました僧侶の寺院紹介や出演僧侶の人となりを中心にパーソナリティーとのトーク形式で音楽を挟みながら、リスナーの皆様方に浄土真宗を身近に感じてもらえる様な番組になって行くよう番組制作を心掛けてまいりましたが、本年１月より３月迄の放送では、12のテーマを掲げました。

テーマに沿った番組内容へと変わり、それぞれの出演者が予習をされた上での番組に出演となり、テーマについて懇切丁寧に解説して頂きました。

リスナーの皆様からも質問を受けたり答えたりと内容が充実した１時間番組となりました。

お陰様で３月28日を持ちまして番組終了となりましたことご報告をさせて頂きます。

番組放送（全51回）、出演者総数58名の皆様方にご理解とご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。

久朗津 氏

藤井 氏　野口 氏

石田 氏

長尾 氏

長尾 氏　青山 氏　横湯 氏

松本 氏

伝道企画部研修会

平成29年６月14日（水）　本願寺札幌別院に於いて「研修会」が開催されました。

札幌組内の御寺院様・近隣組の御寺院様、総勢31名のご出席を頂きました。

ご講師には、南追税理士事務所 宗教法人部部長 米村保樹（よねむらやすき）氏をお迎えし「寺院会計の実務と税務」〝明日からきちんとした帳簿が付けられる〟という講題でお話を頂きました。

寺院会計の基礎知識や正しい帳簿の付け方について学ばさせて頂きました。

限られた時間ではありましたが、大変、有意義な研修会となりました。

青少年部 社会部 合同「ビハーラ　～つながる手と手、伝わるぬくもり～ vol.4」報告

平成29年８月26日（土）　午前10時～11時

近年、少子高齢化や核家族化が進む中で、世代を超えて人と人とが触れ合う機会が少なくなっています。ややもすると情報だけが行きかうこの時代に、手と手が触れ合うことでしか伝わらないことがあることを、今一度、考えさせていただく。

お年寄りから学ぶこと、若い世代から気づかせてもらうこと、そんな出会いを大切にしていく営みとして、昨年と同じく特別養護老人ホームという場所をお借りして、お年寄りとの交流を図り、一人でも多くの方が本当の幸せとは何か、ということを考える契機となればという願いで、社会部・青少年部合同で開催させていただきました。

この度は８月26日（土）、昨年同様、慈啓会特別養護老人ホームに、札幌龍谷学園高等学校インターアクト部４名を含む20名で伺いました。ご挨拶をさせていただき、皆さんと歌を歌ったり、ゲームをしたり、楽しく交流させていただきました。

１時間という短い時間ではありましたが、入居者の皆さまに喜んでいただけたと感じております。ビハーラ活動は私たち僧侶にとって大切な活動であり、今後はより力を尽くしていかなければならないことと感じております。

婦人部　仏教婦人連盟研修会「野菜を知って食べよう」

平成29年５月29日（月）、本願寺札幌別院において仏教婦人会連盟研修会が161名参加のもと開催されました。

研修会講師にはアクティブ野菜ソムリエプロ栗田幸江さんをお迎えし、人参は皮と身の間に栄養があることやブロッコリーは少し紫がかったほうが美味しいなどのお話をいただき、最後はたくさんの人からの質問に答えられて、盛り上がり楽しい研修会になりました。

青少年部　「デイキャンプ～自然の恵み、いのちの育み～ vol.4」報告

平成29年７月17日（月）に札幌組青少年部主催のデイキャンプ、今年は恵庭市にあるむらかみ牧場にて開催されました。

当日の出席者は39名と、過去最多の参加者となりました。

10時30分より受付。11時00分から乳搾り体験の予定でしたが、豪雨により予定を変更してアイスクリームづくりを室内で行いました。アイスクリームづくりが終わるころには、雨が止んだ為、乳搾り体験とバターづくり体験も予定通り行うことができました。体験終了後BBQを行い、昼食をとりました。14時40分に閉会式をして無事にデイキャンプの日程が終了いたしました。

悪天候の中で始まったデイキャンプでしたが、その後は晴れて、デイキャンプ日和になったことと、連日の猛暑日による熱中症などが懸念されていましたが、参加者全員が熱中症や怪我無く終わることが出来て良かったです。

研修部　札幌組新年会・研修会

平成30年２月５日、札幌パークホテルで僧侶研修会が行われました。教区巡回講師の上山知現氏、石堂了正氏を講師に迎え、「葬儀について」荘厳と衣体の被着法について学びました。実際に七条袈裟を用いて、綺麗な着方を学びました。その後、札幌組新年会が開催され親睦を深めました。

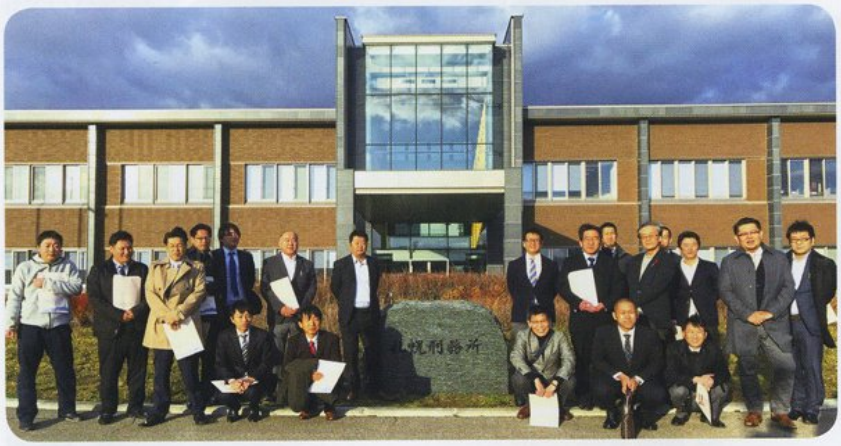
社会部　札幌刑務所 施設の見学

今般、平成29年11月９日（木）に社会部の目標である「本派教誨150周年に向けて、さらなる展望のもとに」を踏まえ、研修の一環として札幌刑務所施設の見学が開催されました。

「宗派では矯正教化連盟としての組織が構築され「札幌刑務所」では積極的に宗教教誨としての活動を行っております。しかし、教誨師以外の多くの方々は札幌に住みながら「札幌刑務所」施設へ入館することは無く、どのような環境であるか、また改善更正と社会復帰のための矯正処遇等を知る機会は皆無でありました。」

この度22名の方にご参加いただき、館内施設を見学させていただきました。施設は平成26年に全体改築が完了しており、とてもきれいで日常生活を送るには快適に思えるほどでした。その後教育部長より現在の札幌刑務所施設の現況並びに諸問題等についてお話を頂きました。

初めて刑務所内を見学した参加者も多く、有意義な研修会となりました。



壮年部　札幌組「壮年の集い」開催

去る、７月１日札幌組「壮年の集い」を本願寺札幌別院を会場に参加者約40名で開催致しました。このたびの「壮年の集い」は、各単位活動報告、講師に 高岡教区糸岡組 宝性寺 初瀬部有真（はせべゆうしん）師にお越し頂き、「南無阿弥陀仏のおこころ」をテーマにお話頂きました。

壮年会員の皆様のお陰様で開催できた喜びと、今後の仏教壮年会の単位会登録寺院の増加を念願し懇親会は盛会に行われました。

青少年部　なむ茶カフェ vol.4

平成30年２月18日（日）、白石区南郷通６丁目にあるおしゃれなカフェレストラン「モンコジ」様をお借りして、大人20名、子ども10名の総勢30名にご参加いただき、なむ茶カフェ vol.4を開催させていただきました。

今回は小樽から「つくし牧田」様にご出向いただき、和菓子作り体験をさせていただきました。子どもにも作りやすい和菓子を３つ作りましたが、大人でも十分楽しめました。特にカッパの和菓子はそれぞれ個性のある顔に♪食べるのが勿体ないくらいの出来に皆さんとっても喜んでいました。

その後はカフェタイム♪美味しいコーヒーやジュースを飲みながら、モンコジ特製のスイーツを堪能♪楽しく穏やかな時間を過ごしました。

天気も心配されましたが、何とか持ちこたえてくれました。インフルエンザで３名が急遽欠席とはなりましたが、ご参加いただいた皆さんに素敵な時間をお過ごしいただけたと思います。今後も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

連研部　第17期 連研

平成29年５月より札幌別院ほか組内５か寺を会場に、「第17期連研」を開催しています。受講者は、８カ寺35名。全12回の連研では毎回、テーマに基づき受講者が班に分かれて話し合いをしています。話し合い法座では、決まった答えのない問いに、みなさん「難しいなぁ」という声を上げながらも、それぞれの思いや体験などを積極的に語り合い、多様な考えを尊重しあう場になっています。

総代部　【平成29年度北海道教区Ａブロック門徒総代会総会・研修会】

「出遇う世界」から「出会う世界」へ～終末期医療現場のビハーラ僧侶の関わり～

平成29年７月11日（火）～12日（水）の２日間、札幌パークホテルに於いて、札幌組総代会主管のもと、門徒総代としての自覚と、互いの研鑽を深めることを目的に平成29年度北海道教区Ａブロック門徒総代会総会・研修会が開催されました。

本研修会には北海道教区Ａブロック内各寺の総代をはじめ役員や門信徒の皆様、寺族、総勢237名のご出席をいただきました。ご講師にはあそかビハーラ病院勤務、ビハーラ僧侶でもあります山本成樹（やまもとなるき）氏をお迎えし、『「出遇う世界」から「出会う世界」へ～終末期医療　現場のビハーラ僧侶の関わり～』を題目に、ビハーラとは何か、現場の実情、問題点、今後の課題についてお話をいただきました。また、話し合い法座では各グループに分かれ、ビハーラ活動や終末期医療等に関して、活発な意見交換がなされました。限られた時間ではありましたが、講演や話し合い法座を通じて、互いの研鑽を深められた有意義な研修会となりました。

尚、平成30年度は後志組主管のもと７月23日（月）～24日（火）グランドパーク小樽にて開催される予定です。

婦人部　第31回　全道仏教婦人大会　於滝川

平成29年６月27日、全道仏教婦人大会が「たきかわ文化センター大ホール」を会場に開催されました。札幌組からは134名の参加でした。

当大会は４年に一度で開催され、今年度は空知北組仏教婦人連盟の主管にて「ささえつつ、ささえられつつ」のテーマのもと、本願寺専如ご門主様ご臨席のもと催されました。記念講演には谷川弘顕師をお迎えし、ともにみ教えを学び、共にお念仏の喜びを深めさせていただいた実りあるお話でした。又、空知北組仏教婦人による歌や朗読を織り交ぜた舞台は素晴らしく、感動感激しました。

連研部　北海道教区門徒推進員・連研履修者合同研修会

平成29年11月８日（水）、札幌別院にて「北海道教区門徒推進員・連研履修者合同研修会」を北海道教区主催、札幌組担当で開催いたしました。

今回は「あなたのお寺の未来は？～地域社会に拓く仏教・寺院」というテーマで、連研中央講師の漢見覚恵師（滋賀教区彦根組純正寺）にお話いただき、参加者30名が班に分れて話し合いを行いました。また今回は、平成28年に結成された札幌組門推連の皆さんに受付から調声、司会まで研修会の運営に全面的に携わっていただき、開催することができました。

札幌組　報恩講参拝スタンプラリー

伝道企画部・広報委員会　合同

札幌組では、平成29年度より新たな企画として、組内寺院で厳修される報恩講を巡る「報恩講参拝スタンプラリー」を開催いたしました。この企画は、伝道企画部・広報委員会が合同の企画で、各寺院の報恩講の活性化や参詣者同士の交流を目指し、かつての【参りあい】の文化を引き継ぐ企画となりました。

初年度である平成29年度には、組内25ヶ寺の寺院に参画いただいてのスタートでした。実際に報恩講の時期がやってくると「スタンプラリーを目的に普段参詣することがなかなかできないお寺にも参拝できるいい機会となった」や「他のお寺の報恩講に参拝できて、自分のお寺にもぜひ活用したい工夫などを見ることができた」「いつもよりお参りが増えて賑やかになった」などと、各寺がお互いに良い刺激を受けることのできた企画となりました。組内寺院すべての法要が11月に円成すると、のべ100名を超える方々にスタンプラリーの参加をいただきました。

伝道企画部・広報委員会では、これからも多くの方々にお念仏のみ教えを紡ぐ事を目的にスタンプラリーを開催する予定です。次年度以降もどうぞ奮ってご参加ください。

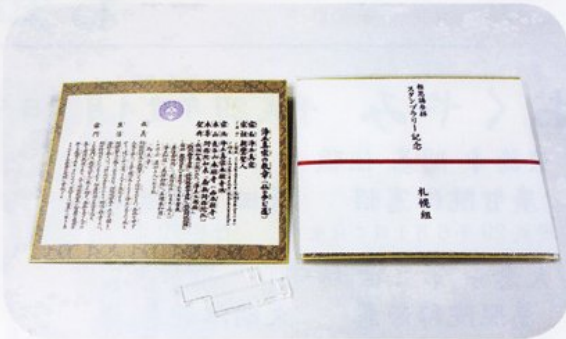
たくさんの報恩講にお参りしていただき ありがとうございました！

スタンプラリー達成者については、総勢42名の皆さまに記念品と表彰状を贈呈させていただきました。

●20ヶ寺以上達成者
　4名様（所属3ヶ寺）
　　北喜　伸博　様（眞願寺）22ヶ寺
　　萩原　芳昭　様（眞願寺）20ヶ寺
　　坪田マサ子　様（宝流寺）20ヶ寺
　　松本　文子　様（大乗寺）20ヶ寺
●10ヶ寺以上達成者
　14名様（所属9ヶ寺）
●5ヶ寺以上達成者
　24名様（所属8ヶ寺）

20ヶ寺達成記念品　ふくさ

10ヶ寺達成記念品　聖典、経本カバー



5ヶ寺達成記念品　教章色紙

宗派の各部が発行する教化資料・教材等の紹介

浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室では、伝道教化に役立つリーフレットや冊子が各推進室などから無償（送料負担）でいただけます。

是非、各寺院での法要や行事、研修会での教化の奨励にご活用下さい。

詳細は、『宗報』の情報コーナー《各部発行教化資料・教材等紹介》のページをご覧ください。

お問い合わせ先

浄土真宗本願寺派　重点プロジェクト推進室（075－371－5181代表）

札幌正信会　正信会研修会

この度、平成29年２月８日（木）16時より札幌別院に於いて講師に松本紹圭氏（東京神谷町光明寺僧侶・武蔵野大学客員准教授・「未来の住職塾」塾長（一般社団法人 お寺の未来））をお迎えし講題を「お念仏」にて正信会研修会を開催致しました。終了後は交流会も行われました。

組内寺院はもとより近隣組若手僧侶会にもご案内をさせていただきましたところ53名のご参加を頂きました。特に2016（平成28年）伝灯奉告法要ご門主「ご親教」「念仏者の生き方」を紐解きながらお話をいただき、これからのお寺や僧侶のありかたを考えさせられる研修会となりました。

お知らせ

おくやみ　平成29年度4月1日～平成30年3月14日にご往生

興徳寺 開基 住職
廣智院釋憲昭　藤田　憲昭 様
平成29年6月1日ご往生　行年72才

本誓寺 第3世 坊守
誓真院釋和顔　野口　和子 様
平成29年9月26日ご往生　行年84才

大念寺 第2世 坊守
慈照院釋靜慧　久朗津靜慧 様
平成29年9月14日ご往生　行年84才

萬行寺 第2世 住職
旭興院釋憲雄　坪井　憲雄 様
平成29年1月28日ご往生　行年71才

生前は札幌組のご法義発展に大変なご協力を下さいました。皆様のご尽力に感謝申し上げます。合掌

住職継職

松雲寺　竹澤　信也 様

平成29年10月27日住職継職法要が勤修されました。おめでとうございます。

編集後記　札幌組々報「なごみ56号」を皆さまのお手元に送付させていただきました。今号も札幌組における実践運動各部の活動報告を中心に掲載させていただきました。発行にあたっては、執行部をはじめ各部の皆さまのご尽力誠にありがとうございました。

また、かねてより検討されていた「報恩講参拝スタンプラリー」を実行することができたのも、組内寺院の皆さまのご理解とご協力あってのことであります。しかし、企画初年度ということもあって課題も浮き彫りになりました。次年度以降も「参りあい」の文化を引き継いで、多くの皆さまと報恩講へ参拝し、ご一緒にお念仏を喜ばせていただきたいと思います。

次年度からは、宗門の重点プロジェクトが新たなテーマとなり、一層社会へ向けた取り組みが重要かと存じます。これからも皆さまのご教導をいただきながら、各部の活動を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。